

## 乳がん自己検診用手袋の配付について

乳がんは日本人女性の9人に1人が発症するといわれ、今後さらに悪化していくと推定されています。わが国の2020年の乳がんと診断された女性は91,531人で、2023年の死亡数は15,629人です。

年齢階級別罹患率でみた女性の乳がんは、30歳代から増加をはじめ40歳代後半から50歳代前半でピークを迎え、その後は次第に減少します。

乳がんは、自分で発見できる唯一の癌といわれており、早期発見の場合は、治癒率は約90%以上とされています。このため、早期発見には検診とともに自己検診が重要なポイントとなります。

なお、この自己検診用手袋は確実に乳がんが発見できるものではなく、素手で行うより少し発見しやすい程度のもので考えてください。

少しでも乳がんの早期発見の一助となるように自己検診用手袋を配付します。

- ・配付対象 30歳から65才までの女性の被保険者

ただし、40歳以上の方は令和6年度に当組合が実施した健康診断（特定健康診査、一般健康診断（個別）、一般健康診断（集合）、人間ドック（脳ドックを含む））を受診し、組合に補助金の申請（特定健診、一般健康診断（40歳以上の集合）を除く）をされた被保険者に配付します。

- ・配付時期 令和7年8月以降
- ・申込方法 該当者全員にお送りしますので、申込は不要です。
- ・配付方法 郵便にてお送りします。
- ・送付先 「資格情報のお知らせ」又は「資格確認書」に記載している住所となります。

